

選定基準別提案内容と事業実績の確認

施設名	観音崎公園
指定管理者名	神奈川県公園協会・京急サービス共同事業体
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課（横須賀土木事務所）

選定基準大項目	評価項目				審査（評価）の視点（C）	提案内容（D）	指定期間 令和4年度の事業実績（E）	所管課による課題分析等（F）	事業実績の確認方法（G）			
	選定基準中項目（A）	小項目（B）	配点	選定時の評価点					実績報告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(1) 指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等	基本姿勢及び管理運営方針	5	4	指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方	○ 団体等の管理運営方針として「誰もが安全で快適に利用できる公園」「公園管理を通じて地域に貢献」「効率的・効果的かつ持続可能な管理運営」に取り組む。	計画通り実施 都市に残された貴重な自然や生物多様性に配慮した公園の管理運営を行った。	本公園の運営方針として、今後も続けていくよう望まれる。	○			
					公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針	○ 公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針として「生物多様性の保全と再生」「楽しく体感し学べる場づくり県民協働による公園づくり」「自然・歴史・文化の魅力情報の発信」「観光振興による地域活力の創出」の基本方向を掲げ、管理運営を行う。	計画通り実施 日本最初の様式灯台、砲台跡などの歴史的遺産を生かした公園の管理運営を行った。 また、美しい眺望による公園固有の景観づくりとして、展望広場の支障木の剪定・伐採を行い、眺望を確保した。	提案に基づいて概ね適切に実施していた。 今後も公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営を行っていくよう望まれる。	○			
					利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針	○ 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針として、「安全で快適な利用空間の平等な提供」「利用者や地域住民等の意見を反映した公園づくりの推進」「環境に配慮した管理運営」に取り組む。	計画通り実施 日ごろの窓口等での対応等に加え、利用者アンケート等、双方向コミュニケーションの機会をできる限り活用し、利用者や地域住民の声を取り入れ、業務改善に反映した。	提案に基づいて適切に実施していた。引き続き適切な管理運営をしていくよう望まれる。	○			
					業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等（委託先の選定方法、県内（地域）企業への委託の考え方）	○ 公園の特性を熟知した職員により、できるだけ直営で、きめ細やかな維持管理を行うことを基本とし、法令等に基づく業務、専門技術・資格等を要する業務等は委託することとし、地域企業へ積極的に発注する。	計画通り実施 できるだけ直営で、きめ細かな維持管理を行うことを基本としつつ、地域の植生を良く知る地元造園業の「横須賀緑化造園協同組合」と包括協定を締結し、より効率的で質の高い植物管理を行うとともに、地域経済活性化への貢献を図った。	提案に基づいて適切に実施していた。 引き続き、地域の植生に適した植物管理となるよう、質の高い管理運営を期待する。	○	○		
	(2) 施設の維持管理	都市公園施設及び植物の維持管理業務の実施方針	10	8	公園の特性と課題を踏まえた維持管理の考え方	○ 公園の特性や課題を踏まえ、貴重な自然環境等の保全と適切な利用のバランスに配慮した維持管理や、公園のアプローチ部など各場所の特徴を活かした花の見どころづくり、眺望の確保や過密化・巨木化に配慮した樹林地管理、施設の老朽化を踏まえた安全・安心の確保と長寿命化に配慮した施設管理、協働による植物管理に取り組む。	計画通り実施 ・樹林地管理では、展望広場の支障木の剪定・伐採を行い、眺望を確保した。 ・公園設置の全ベンチについて点検を行うなど、施設の老朽化を踏まえた安全・安心の確保に取り組んだ。 ・地元ボランティアと協力し、希少植物の保護、施設補修などの取組を実施した。	提案に基づいて適切に実施していた。 引き続き適切な管理運営をしていくよう望まれる。	○	○		
					施設保守点検業務、小破修繕業務等の実施方針	○ 海浜部に位置し、塩害等による施設劣化の進行が早いという厳しい環境の中、確実な巡視・点検、修繕による安全確保を図る。また、来園者の安全を第一に考え、安全に直結する箇所を優先的に修繕する「観音崎公園リペアプラン」を作成し、計画的な修繕を実施する。	計画通り実施 令和4年度は破損箇所を重点的に修繕を実施した。 リペアプランについては検討中である。	提案に基づいて適切に実施していた。 リペアプランについては、早急に作成するよう努めてもらいたい。	○	○		
					清掃業務、受付業務、警備業務等の実施方針	○ 清掃業務については、「多様な施設の管理経験と高い技能に基づく高品質な清掃」「高齢者や車いすに配慮した園路清掃」「BBQ場のゴミ管理」の3つの実施方針のもと行う。 ○ パークセンターに加え、レストハウスにも受付・案内機能を設け、公園の見どころや周辺の観光情報等、常に最新の情報を共有するとともに、「親切」「丁寧」な対応を心がけ、利用者や様々な団体等との情報交換を図り、管理運営業務に活かす。 ○ 来園者に安全・安心に過ごしていただける空間を提供できるよう、京急サービスの専門教育を受けた警備のプロが警備業務に従事し、さらに各種講習・訓練により日々その錬度を高める。	計画通り実施 ・京急グループ企業として、多様な施設の管理実績と長年に渡る経験から蓄積している技術・ノウハウを生かした管理を実行した。 ・レストハウスへの受付・案内機能の導入は検討準備中である。	提案に基づいて適切に実施していた。 レストハウスへの受付・案内機能の導入は、早急に機能の充実をするよう努めてもらいたい。	○	○		
樹林地や草地管理、樹木、芝生、草花などの植物管理業務等の実施方針	○ 樹木医等と協働で「観音崎樹林再生プラン」を作成し、眺望の確保や過密化・巨木化に配慮した樹林地管理を行う。また、ゾーンごとの特性や課題を踏まえ、自然環境の保全と利用のバランスに配慮した維持管理や、花の見どころづくりなどを行う。	計画通り実施 ・植込地、芝生、樹木、草地等管理について、各植物の特性及び生態系に配慮した維持管理を行った。 ・樹林再生プランは作成準備中である。	提案に基づいて適切に実施していた。 ・専門家の意見を反映した「観音崎樹林再生プラン」の作成は、早急に作成するよう努めてもらいたい。	○	○							

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)			
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	10	9	公園の特性や利用状況(繁忙期・閑散期等)、新しい生活様式などの社会状況に応じて、多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、内容等(有料施設は除く)	○ 海から森へつながる広大な自然と古事記の時代から明治、現代にまでつながる海の守りの歴史ある公園と歴史・文化資源のある周辺地域の魅力を活かし、「行きたい!遊びたい!住みたい!よこすか観音崎」をめざし、利用者サービスの向上や多様なプログラムを実施する。 ○ 三浦半島における観光型MaaS「三浦Cocoon」に本公園も参加するなど、地域の交通機関や観光施設等と連携し、三浦半島全体の活性化にも貢献する。	計画通り実施 ・砲台ガイドツアーや海の漂着物調べなどのイベントを実施した。	いずれのイベントも概ね盛況との報告を受けている。 利用状況の平準化も図りながら、地域の魅力を活かした多様なプログラムの実施等、引き続き利用促進につながる取組を期待する。	○			
					有料施設における利用者増及びサービス向上に資する事業の実施方針、内容	○ 利用者の利便性を高め、サービス向上を図るため、県の管理許可等を受け、駐車場と自動販売機の運営を行う。 ○ 京急電鉄が取り組む観光型MaaS「三浦Cocoon」の機能拡充を通じて、今後、観音崎公園駐車場の混雑状況の配信機能も提案することで、繁忙期の混雑解消や需要の平準化も図り、満足度の高い観光拠点として強化を行う。	計画通り実施 ・過去の実績に基づいた「駐車場混雑予想カレンダー」を作成し、公園ホームページに掲載し、さらなる混雑緩和を図った。	提案に基づいて適切に実施していた。 引き続き、混雑解消や需要の平準化等に取り組み、さらなる利用者へのサービス向上に努めてもらいたい。	○			
					多くの利用を図るために行う広報・情報発信の工夫等	○ いつでも誰でも、多彩なアクティビティの充実を目指し、園内の自然や歴史等に関する解説をスマホで視聴する仕組み作りや、周辺施設と連携したイベント、グリーンエクササイズプログラムなど、公園と周辺地域の魅力を活かした多様なプログラムを実施する。また、三浦半島における観光型MaaS「三浦Cocoon」に参加するなど、地域の交通機関や観光施設等と連携し、三浦半島全体の活性化にも貢献していく。 ○ 県内他市町村や東京都等の広域からの利用も促進するため、ホームページやSNSのほか、観光型MaaS「三浦Cocoon」や京急グループのネットワークなどを活用した広報・PRを行う。	計画通り実施 ・イベント情報を掲載するなど、ホームページによる情報発信に注力した。 ・グリーンエクササイズプログラムについては検討中である。	提案に基づいて適切に実施していた。 ・周辺施設とのイベントの実施やSNS等を活用したさらなる情報発信にも期待する。 ・グリーンエクササイズプログラムなどのプログラムの実施については、検討を進めるよう努めてもらいたい	○			
					公園の特性をより効果的に活かすために行う自主事業の内容等	○ 利用者の利便性を高め、サービス向上を図るため、レストランの運営等を自主事業として行う。	計画通り実施 ・自主事業として、三浦半島の横須賀で採れる肉・魚・野菜などの地元食材等を提供するレストランがオープンした。プレオープン時には、接客・調理方法等各スタッフの研修を兼ねながら営業をスタートした。	提案に基づいて適切に実施していた。 引き続き適切な管理運営をしていくよう望まれる。	○	○		
					利用料金の設定、減免の考え方(有料施設がある場合のみ)	○ 駐車場、自動販売機の料金設定については、民間も含めた同様の施設を考慮したうえで、公の施設として相応の額を設定する。 ○ ユニバーサルな対応を推進する観点から、対象者には駐車場料金の減免を行う。	計画通り実施 ・二輪車駐車場無料化(駐車場) ・専門業者にフルオペレート委託(自動販売機)	提案に基づいて適切に実施していた。引き続き適切な管理運営をしていくよう望まれる。	○	○		
	利用者対応・サービス向上の取組	5	4	接客や利用者との対話、公園利用ルールの利用者への助言、指導等の考え方	○ グループ代表がこれまでの公園等の管理運営で培った接客や利用者対応のノウハウと、京急サービスが施設管理等で培ってきたノウハウを融合し、利用者対応の向上を図る。 ○ すべての利用者が公平・公正に気持ちよく公園を利用していただけるよう、条例や規則に違反している場合や危険な行為の禁止などを徹底するために多言語に対応した看板を設置するとともに、根気強く利用者へ働きかける。	計画通り実施 ・公園の見どころや周辺の観光情報等、常に最新の情報を共有するとともに、親切、丁寧な対応を心がけ、管理運営業務に活かした。	・提案に基づいて適切に実施していた。 ・引き続き、利用者が親しみやすく、気持ちよく公園利用をできるように、利用者対応の向上に努めてもらいたい。	○	○			
				サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み等	○ 公園を利用されている方のみならず、これから公園を利用する可能性のある潜在的利用者を含め、ニーズや苦情を的確に把握し、これを公園管理に反映させることで、利用者満足度の向上と新規利用者の獲得を図る。	計画通り実施 ・利用者満足度調査アンケートで要望・意見の把握に努めた。	・アンケートの回答で要望に対してできる限り検討して対応している点は評価できる。 ・引き続き、利用者の声を反映し、サービスの向上を図るよう努めてもらいたい。	○	○			
				外国人、障がい者、高齢者等誰もが円滑に施設利用するための、コミュニケーションにおける工夫及び必要に応じた支援の方針	○ 外国の方への多言語での対応に取り組むほか「ともに生きる社会かながわ憲章」の趣旨を踏まえ、障害者差別解消法に基づく障がい者への合理的配慮、高齢者への配慮、子育て世代が安全・快適に利用できる環境を整え、ユニバーサルな対応を推進する。	計画通り実施 ・バリアフリー化の公園案内図への明示を行った。	・提案に基づいて適切に実施していた。 ・引き続き、だれもが安心して利用しやすい公園を目指す取組を期待する。	○				
				神奈川県手話言語条例への対応	○ コミュニケーションボードの活用や筆談、大きな声で対応する用意ができていないことを示す「耳マーク」をパークセンターに掲示するほか、利用者への手話の普及啓発に取り組む。	計画通り実施 ・職員が手話講習会を受講し、ユニバーサルなサービスを目指した。	提案に基づいて適切に実施していた。 ・引き続き、様々なサポートの準備や研修の受講等を期待する。	○				

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)			
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(4) 事故防止等安全管理	日常の事故防止、緊急時の対応	10	8	指定管理業務を行う際の公園の特性を踏まえた事故防止等の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不利益を最小限におさえる「リスクマネジメント」の考え方を取り入れ、事故等の発生を未然に防ぐ予防的対策を実施する。海岸部から山間部まで広大な面積を有する本公園では、施設や季節に応じた対応を整理した点検マニュアルを作成し、安全対策を講じる。 ○ 目視での確認が困難な樹冠部や建物の屋根部等の高所では、ドローンを活用した点検を行い、危険箇所の早期発見と事故防止に努める。 	計画通り実施 <ul style="list-style-type: none"> ・園長を危機管理責任者とした園内体制の確立に加え、関係機関や地域等と連携した体制強化、情報共有や巡視等の徹底により、事故等を未然に防いだ。 ・ドローンを活用した点検については、実施検討中である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案に基づいて適切に実施していた。 ・ドローンを活用した点検については、早急に作成するよう努めてもらいたい 	○			
					樹林地の過密化や巨木化等に起因する災害を未然に防止する点検等の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常の巡視において、園路沿いや広場付近など、来園者の安全確保が重要な箇所を中心に、枯損木や枯れ枝の状況や病虫害の状況を確認し、必要に応じて、伐採や病虫害防除等を速やかに行う。 ○ 日々の巡視や状況に応じた安全対策を徹底するとともに、特に長雨や台風シーズンの前には、集中的な点検を行い、災害の未然防止に努める。 	計画通り実施 <ul style="list-style-type: none"> ・広場内及び園路沿いの樹木で枝折れや倒木の危険性がある樹木のチェックや、樹木高所からの落枝の未然防止、枯損木の処理を行った。 	提案に基づいて適切に実施していた。 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、日常巡視や点検での危険の確認を行い、安全確保の徹底を期待する。 ・専門家の意見を反映した「観音崎樹林再生プラン」を樹林管理に活かせるよう、早急に作成するよう努めてもらいたい。 	○	○		
					事故・不祥事等の緊急事態が発生した場合や安全管理の妨げとなりうる事案を認知した際の対応方針（対応方針には、利用者に外国人や障がい者、高齢者が含まれていた場合を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故や不祥事等が起きた際にはクライシスマネジメント（危機管理）の考え方を取り入れ、被害の最小化、安全確保を図る。その後は、発生原因等の分析を行いリスクマネジメントや危機管理に反映し継続的な業務改善や再発防止を図る。 ○ 立入禁止等の看板や来園前に注意を呼び掛けるSNS等では、多言語表記や「やさしい日本語」を活用し、情報へのアクセシビリティを向上する。 	計画通り実施 毎朝の作業前ミーティングにおいて、その日毎の作業計画や作業内容に応じた安全管理事項の確認を行い、安全管理レベルの向上に努めた。	<ul style="list-style-type: none"> ・物損事故（園内ベンチ破損）が発生したが、迅速に対応をしていた。 ・引き続き適切な管理運営をしていくよう望まれる。 	○			
					急病人等が生じた場合の対応 救急救命士等の配置、救命に関する職員研修等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園内で急病人やけが人が生じた場合には「安全管理マニュアル」に従い迅速に対応する。職員が病人の状況を把握した上で、病院や消防に連絡するほか、必要に応じて心肺蘇生やAEDの利用などの応急措置を施す。全職員が冷静に急病人に対応できるよう、定期的な教育・訓練を行って技術習得とスキルアップを図る。 	計画通り実施 職員はパート職員を含め、普通救命講習を受講し、急病人が発生した場合の対応に備えた。	<ul style="list-style-type: none"> ・提案に基づいて適切に実施していた。 ・幸い、本公園で急病人は出なかった。 ・救急時に円滑に対応できるよう、安全管理マニュアルを遵守するとともに、講習の受講等、定期的な教育・訓練を実施してもらいたい。 	○	○		
					新型コロナウイルス等の感染症に対する対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルスへの対応については、「施設の管理・運営における対策徹底による利用者の感染防止」はもとより「利用者や周辺住民の理解促進」「職員の感染防止」を感染防止対策の柱として、感染防止の徹底を図りつつ、健康増進と憩いの場としての公園の管理運営を行う。 	計画通り実施 新型コロナウイルス感染対策を講じながらイベントを行うなど、感染防止の徹底を図りつつ管理運営を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・提案に基づいて適切に実施していた。 ・今後、新型コロナウイルス感染症に係る特別な対応を行う際は、マニュアルを活用し適切に対策を行うことを期待する。 	○	○		
	災害への対応 (事前、発生時)	5	5	異常気象（大雨、台風、熱中症アラート等）への対応方針（事前、初動、発生時、応急復旧時）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や洪水、台風などの風水害に対しては、事前の備え、初動から発生時、解除後の応急復旧・報告の各段階をタイムラインに沿って、迅速かつ適切に対応する。 	計画通り実施 <ul style="list-style-type: none"> ・大雨警報後や、台風の接近前、通過後に園内各所の安全点検を実施し、随時報告を行った。 	提案に基づいて適切に実施していた。 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、災害時の対応等を迅速にとれるよう、適切な管理運営に努めてほしい。 	○	○			
				公園の「震災時対応の考え方」に示す初動体制等への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地震発生時には県が示す「震災時対応の考え方」やグループ代表が整理したタイムライン等に沿って迅速かつ確実な対応を行う。勤務時間外の参集にあたっては、本公園勤務の有無に関わらず、グループ構成団体の公園近くに居住する職員が参集することで、発生後30分以内を目標に、参集したスタッフによる初動対応を図る。 	計画通り実施 大規模地震の発生はなかった。	提案に基づいて適切に実施していた。引き続き適切な管理運営をしていくよう望まれる。	○				
				大規模災害発生時の公園の特性、立地状況等に応じた災害対応の考え方（地域との連携、防災訓練、災害発生時の協力等）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公園の一部は、津波ハザードマップの浸水予想区域に含まれているため、日常からの放送機器の点検や来園者への津波避難場所や避難ルートを掲示し、大規模地震発生時には、来園者が迅速に避難できるように努める。また、震災時に倒木や法面の崩落により、園路が封鎖された場合を想定した避難ルートを複数設定し、訓練を定期的実施する。 ○ 公園及び地域の防災力の強化を図るため、利用者や地域の自治会、近隣施設等と協働で防災訓練等を実施するなどして連携を深める。 	概ね計画通り実施 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者周知のための放送機器の日常点検や避難場所・ルートの掲示を行った。また、園路が封鎖された場合を想定した避難ルートを検討した。 ・なお、利用者等と共同で行う防災訓練は未実施。 	防災訓練を早急に実施するよう努めてもらいたい。	○				

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)				
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
I サービスの向上	(5)	地域と連携した魅力ある施設づくり	地域との連携体制、取組	5	5	多様な主体（地域人材、自治会、関係機関）との連携、協力体制の構築等の取組内容	○ 地域の団体や人材と積極的に連携することで公園への愛着や親近感を高め、生きがいづくりやコミュニティの活性化を図るとともに、地域と一体となって、地域の魅力向上や発信に取り組む。	計画通り実施 ・地元の観光協会と連携し、公園及び地域の魅力向上・発信を進めた。	提案に基づいて適切に実施していた。 ・周辺施設との連携し、観音崎公園連絡協議会を開催し、Park-PFI事業者等と意見交換、連携する場を設ける取組が継続して行われている。 ・引き続き、地域と一体となって適切な管理運営をしていくよう望まれる。	○	○		
						ボランティア団体等の育成・連携、協働の取組内容	○ 公園で活動している様々な分野のボランティア団体の活動をより促進するため、「月1回気軽にできるボランティアDay」や研修会の開催など、より多くの方がボランティアとして参加できるような環境づくりに努める。	計画通り実施 ・ボランティアの裾野を広げ、参加者の興味に合わせて、園内の活動団体や活動内容等を紹介し、ボランティア活動の活性化を図った。	提案に基づいて適切に実施していた。 ・引き続き、参加者の興味にあったボランティア活動となるよう、積極的な協働への取組を期待する。	○			
						周辺施設（他の公園・施設等）との交流・連携の内容	○ 観音崎自然博物館、横須賀美術館、BEACH⇔PARK LIVING等の周辺施設や横須賀市内の歴史遺構との連携に加え、「三浦CocoonFamily」との観光コンテンツ及び観光型MaaS連携を進め、公園利用者に向けた観光体験の創出を図る。	計画通り実施 大規模イベントである観音崎フェスタを開催したことにより、観音崎自然博物館、横須賀美術館BEACH⇔PARK LIVING等多くの来場者で賑わい、各構成団体や関係者と連携しながら運営することにより、相互の信頼感を構築できた。	提案に基づいて適切に実施していた。 引き続き、各構成団体や関係者と連携した管理運営をしていくよう望まれる。	○	○		
						地域企業への業務委託等による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容	○ 高木管理に関しては、地元の造園業者と包括協定を締結することで、台風等による倒木被害等が発生した場合の応急復旧に関しても公園近傍に位置していること及び公園について精通していることから迅速な対応が期待できる。 ○ 地域雇用の確保、社会的ニーズへの対応といった観点から、シルバー人材センターや社会福祉法人等の地元非営利団体とも継続的に業務委託することにより地域連携を図る。	計画通り実施 地域の植生を良く知る地元造園業のプロ集団であり、かつ官公需適格組合として認定されている「横須賀緑化造園協同組合」と包括協定を締結し、計画的に業務を委託することにより、より効率的で質の高い植物管理を行うとともに、地域経済活性化への貢献を図った。	提案に基づいて適切に実施していた。 引き続き、地域企業等との連携を図り、公園に適したきめ細かい管理運営をしていくことが望まれる。	○	○		
III 団体の業務遂行能力	(6)	コンプライアンス、社会貢献	コンプライアンス、社会貢献	5	4	指定管理業務を実施するために必要な団体等の企業倫理・諸規程の整備、施設設備の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令遵守の徹底に向けた取組の状況（労働条件審査の実施予定など施設職員に係る労働条件の確認の有無を含む）	○ 諸規定類を整備し、法令遵守の徹底に取り組むとともに、施設設備の維持管理に関する法規についても、研修や講習会の受講、資格取得等を通じて理解を深め、安全な公園管理運営を図る。 ○ 労働基準法等の労働関係法規に基づき、就業に関する規程を整備しており、これらを適切に運用し安全で快適な労働環境を確保する。	計画通り実施 諸規定やマニュアル等に基づき、監督職員は法令順守、品質確保、安全管理体制、連絡体制、工期順守、利用者対応等の視点から指導監督を行った。	提案に基づいて適切に実施していた。引き続き適切な管理運営をしていくよう望まれる。	○			
						指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況	○ SDGs では、経済、社会、環境の三側面の調和が重要とされており、この認識も踏まえて環境分野の目標達成に向けて取り組む。	計画通り実施 草地、樹林地、水辺等環境に応じた管理（刈残し、繁殖期への配慮）を行った。	提案に基づいて適切に実施していた。引き続き適切な管理運営をしていくよう望まれる。	○			
						法定雇用率の達成状況等、障害者雇用促進の考え方と実績	○ 障害者雇用状況については、全ての構成法人が法定雇用率を達成している。	・全ての構成法人が、法定雇用人数を充足している。	・提案内容のとおり（業務の基準及び提案書のとおり）適切に実施している。 ・引き続き、法定雇用率の達成に向けて、適切な対応に努めてもらいたい。				
						障害者差別解消法に基づく合理的配慮など、「ともに生きる社会かながわ憲章」の主旨を踏まえた取組	○ 障害者差別解消法及び「ともに生きる社会かながわ憲章」の制定主旨を踏まえ、合理的配慮の提供や広報啓発・研修等に取り組んでいる。	計画通り実施 障がいのある方とご家族、介助者等が利用しやすい環境整備に取り組んだ。	提案に基づいて適切に実施していた。引き続き適切な管理運営をしていくよう望まれる。	○			
						神奈川県手話言語条例への対応	○ 聴覚障がい者の方の安心安全な公園の利用環境を確保するために、意思疎通、情報取得のための重要な手段である手話を使いやすい環境づくりに努める。	計画通り実施 積極的な声掛けによる利用案内、ゆっくり丁寧な会話を心掛けた。	提案に基づいて適切に実施していた。引き続き適切な管理運営をしていくよう望まれる。	○			
	社会貢献活動等、CSRの考え方と実績、SDGs（持続可能な開発目標）への取組	以下の考え方で実施する。 【グループ代表】 CSRを「社会貢献活動」はもとより、「公益法人としての設置目的、コンプライアンス強化をベースに、事業運営を通じて地域社会への貢献、環境への配慮を行い、地域の活性化に繋げていくこと」と幅広く捉えている。このことは持続可能な社会を目指すSDGsの理念とも繋がるため、その取組に積極的にコミットする。この目標を達成するため、公園管理運営事業や公益事業において幅広い活動を行う。 【京急サービス】 法令・社会規範に則り、京急グループを取り巻くすべての皆さまからの信頼に応え、企業市民として期待される社会的責任を果たすために、5つの基本原則を定める。	計画通り実施 鉄道はエネルギー効率がが高く、環境にやさしい乗り物であるため、電車に乗るだけで、エコ・アクションである。京急グループでは、公共交通機関で出かけることを推進する「ノルエコ」プロジェクトを推進した。	提案に基づいて適切に実施していた。引き続き適切な管理運営をしていくよう望まれる。	○								
	(7)	事故・不祥事への対応、個人情報保護	事故・不祥事への対応、個人情報保護	5	4	募集開始の日から起算して過去3年間の重大な事故または不祥事の有無ならびに重大な事故等があった場合の対応状況及び再発防止策構築状況	○ 過去3年間の重大な事故・不祥事はない。	計画通り実施 重大な事故や不祥事は発生しなかった。	該当なし	○			
						個人情報保護についての方針・体制、職員に対する教育・研修体制及び個人情報の取扱いの状況	○ 公園利用者からの信頼を得るためには、利用者等の個人情報を適切に管理することが必要不可欠であるとの認識のもと、「個人情報保護方針」を公表し、諸規程の整備や職員に対する研修の実施により、個人情報の適正な保護に取り組む。	計画通り実施 個人情報等の情報管理に関するチェックリスト等に基づき、厳格な管理を行った。	提案に基づいて適切に実施していた。引き続き適切な管理運営をしていくよう望まれる。	○			

※「事業実績の確認方法(G)」欄のうちの「現地」の欄は、「指定期間 令和4年度の事業実績(E)」欄の実績を現地で確認したことを示すもの。

選定基準別提案内容と事業実績の確認
(施設写真)

施設名	観音崎公園
指定管理者名	神奈川県公園協会・京急サービス共同事業体
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課（横須賀土木事務所）

※施設の概要が分かる写真を3～4枚程度掲載

	
観音崎園地	パークセンター
	
花の広場	イベント「観音崎フェスタ」の様子